

学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立道仏小学校
授業者	田中 彩乃・高橋 亜佑

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海と親しむ（磯遊び）

1-2. 学年

1・2年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

1 事前指導	・海での活動への意欲付けと安全指導
2 体験活動	・小舟渡海岸・大蛇海岸での磯遊び
3 まとめ	・体験を絵日記にまとめる

1-5. 単元設定の理由・ねらい

・学区の海について知り、海の行きもと触れ合うことを通して海の恵みに感謝する気持ちを育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能	・学区の海にはどんな生き物がどんなところにいるのかを体験を通して知る。
思考力・判断力・表現力	・生き物をどうしたらうまく捕まえることができるのかを試行錯誤したり、生き物を大切に思う気持ちや海の恵みへの感謝の気持ちを絵日記に表現したりすることができる。

1-7. 単元の展開（全 5 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の海の生き物について関心を持つ。 ・海は楽しいところであると共に危険な場所でもあることを知り、安全についての約束を考え、守ろうとする気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内の海について写真を提示し、どんな生き物がいるかを想像させる。 ・提示された生き物が海のどんなところにいるかを考え、捕まえ方や必要な道具を考えさせる。 ・海で活動する際の約束を話し合わせ、足りない部分については補足する。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小舟渡海岸・大蛇海岸の写真 ・海の生き物の写真 ・各漁業部会長さんへの活動報告と依頼を行う。
2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットを着用する。 ・大蛇海岸（2年生）と小舟渡海岸（1年生）に分かれて磯遊びを行う。 ・海にあいさつをする。 ・捕まえた生き物は、観察後海に帰す。 ・海にあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットを正しく着用できているかを確認しながら指導する。 ・安全面と生き物を大切にすることを再確認してから活動させる。 ・捕まえた生き物を観察したり、生き物と遊んだりさせた後、海に帰させる。 <p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚を救う網・カニ釣り用の手製竿・バケツ
4	<ul style="list-style-type: none"> ・磯遊びで楽しかったことや気がついたことを絵日記にまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時の写真を提示し、活動の楽しさや海の生き物について振り返らせる。 ・絵日記の発表を通して、学区の海にはいろいろな種類の生き物がいることや、海の豊かな自然の恵みがあるから楽しむことができたことに気付かせる。 ・来年度の活動に意欲を持たせる。 <p><使用教材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動写真 ・絵日記のシート

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海の自然や生き物たちと親しみ、児童相互の調和を図る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 バスで海岸へ移動。 ・2年生（大蛇海岸）、1年生（小舟渡海岸）	・乗り降りの際の安全確認、消毒作業を行う。
2 荷物をまとめ、ライフジャケットを着用する。 ・自分でできるところまで行き、最後に先生に確認してもらう。	・ライフジャケットの着方を実演し、実際に自分で着用させる。ベルトの調節は友達同士行わせてもよいが、必ず最後に教師が確認する。
3 約束の確認 ・大きい岩や、滑る岩に乗らない。 ・磯や斜面を走らない。 ・生き物を大切にす。 ・決められた場所以外に行かない。 ・石や物を投げない。 ・人に水をかけたり、わざとぬれるようなことをしない。など	・命やけがに関わる安全指導、海を大切にし海に感謝して活動するよう指導する。
4 活動開始 ・海にあいさつ ・カニやヤドカリなど磯の生きものを観察したり捕まえたりする。	・安全面での観察を入念に行いながら活動させる。
5 後片付け ・生きものを海に帰す。 ・	

3. 今回の活動の自己評価

- どちらの海岸も、生き物とふれあい楽しく活動できた。子どもたちの絵日記には、その楽しさがよく表現されていた。また、全員が約束を守り安全に活動できたので、事前指導は前時と当日の2回行った効果を感じた。
- 低学年の活動のため、海の恵みに感謝するという点では、導入や事後の活動に工夫が必要だと感じた。
- 3つの学校が統合したため、学区の海の範囲も広くなり、今後活動に適した場所を精選していく必要があると感じた。

4. 今後の課題

- 海の豊かさに着目させる事前・事後活動の工夫。
- 活動場所の精選。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。